

# 2023年3月期

## 第1四半期決算説明会



Bösendorfer



2022年8月4日

ヤマハ株式会社

# 決算発表のポイント

## 決算概要

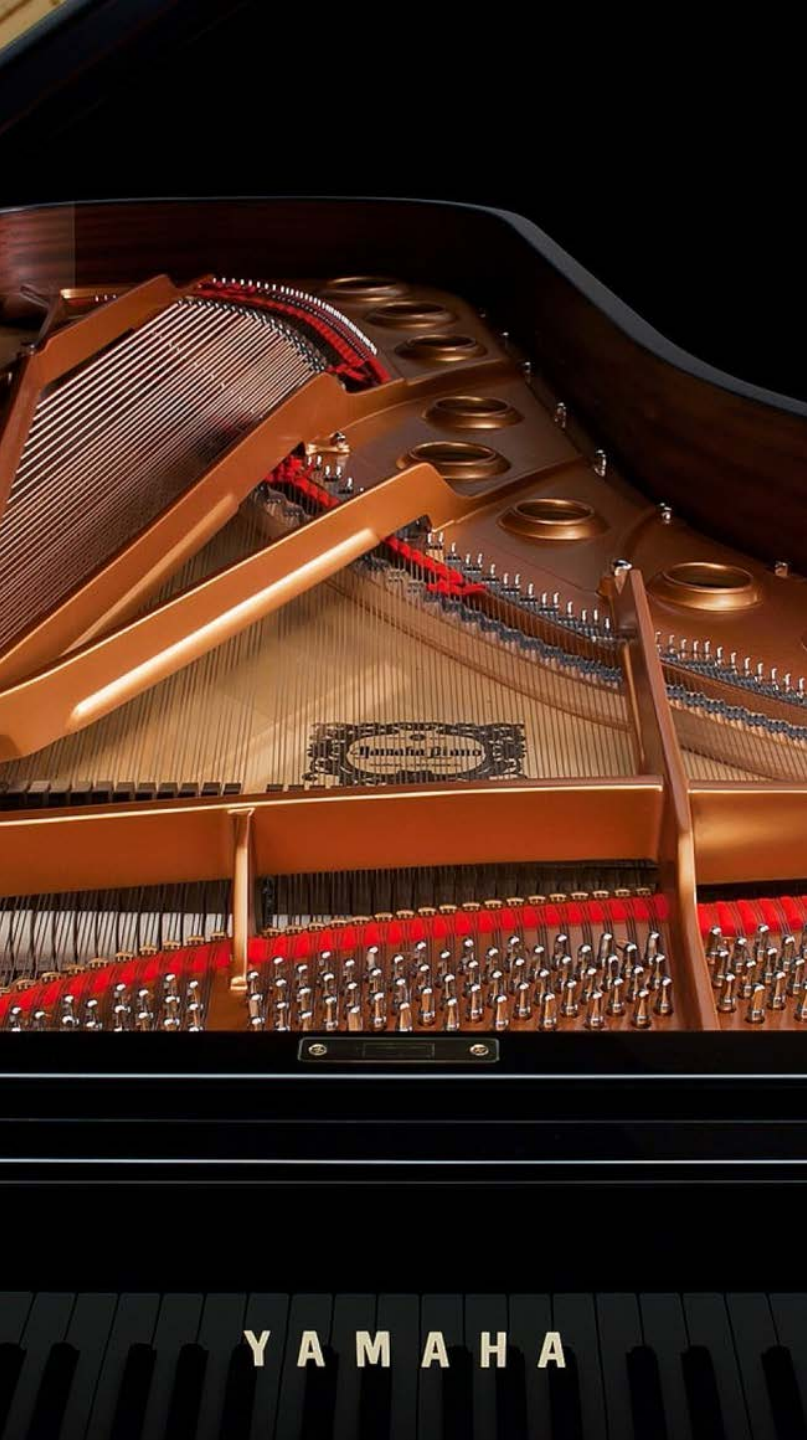
### 【23/3月期 1Q実績】

- ・ 中国ロックダウン、半導体調達難の影響あるも、為替影響により売上収益は増加
- ・ 事業利益は、コスト上昇分を価格適正化で対応するも、実質減収の中、為替影響も限定的で減益

## 業績予想

### 【23/3月期 通期予想】

- ・ US\$換算レートの見直しで、売上収益大幅増も利益影響は限定的
- ・ 中国ロックダウン長期化等により、前回予想から若干の実質減収を予想
- ・ 調達、エネルギーコスト上昇も価格適正化で対応



# 1. 決算概要

# 業績概要

(億円)

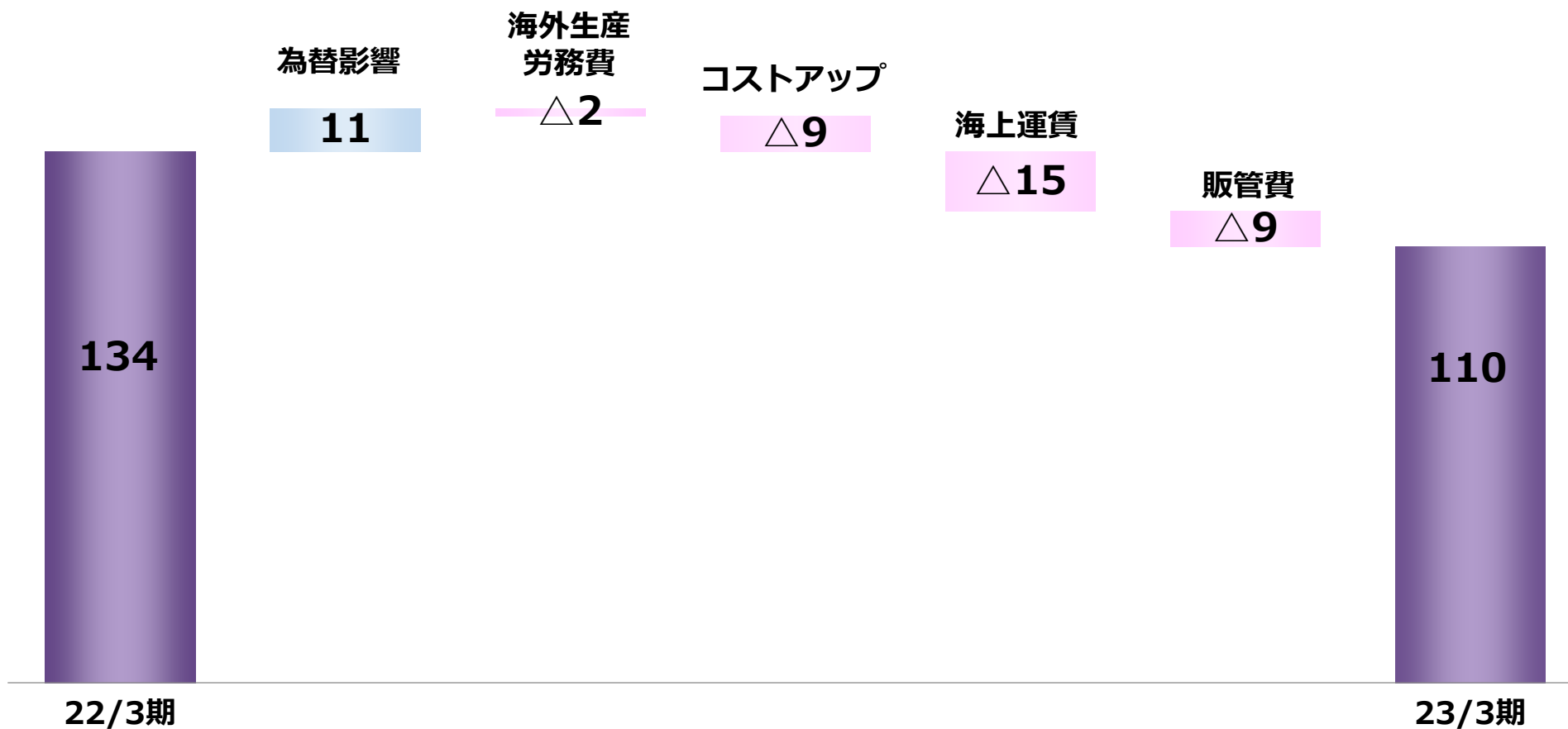
	22/3		23/3		前期比	
売上収益	1,025	<b>1,059</b>	+34	+3.3% <sup>*2</sup>		
事業利益 (事業利益率)	134 (13.1%)	<b>110 (10.4%)</b>	△24	△18.0%		
当期利益 <sup>*1</sup>	134	<b>86</b>	△48	△35.9%		
為替レート (円)					*2 △5.9% (為替影響除く)	
売上収益 (期中平均)	US\$	110	<b>130</b>			
	EUR	132	<b>138</b>			
利益 (決済レート)	US\$	110	<b>127</b>			
	EUR	127	<b>130</b>			

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)



# 事業別業績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	686	734	48	70
	事業利益	104	96	△8	13
	事業利益率	15.1%	13.0%	△2.1P	
音響機器事業	売上収益	245	228	△17	18
	事業利益	13	△4	△17	△3
	事業利益率	5.5%	△1.7%	△7.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	94	98	3	7
	事業利益	17	18	1	1
	事業利益率	17.6%	18.5%	+0.9P	

# 通期業績予想

(億円)

	22/3	23/3 予想	前期比	
			増減	増減率
売上収益	4,082	<b>4,600</b>	518	12.7% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)	430 (10.5%)	<b>500</b> (10.9%)	70	16.2%
当期利益 <sup>*1</sup>	373	<b>375</b>	2	0.7%

\*2 5.2%  
(為替影響除く)

## 為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	112	<b>126</b>
	EUR	131	<b>136</b>
利益 (決済レート)	US\$	112	<b>125</b>
	EUR	131	<b>134</b>

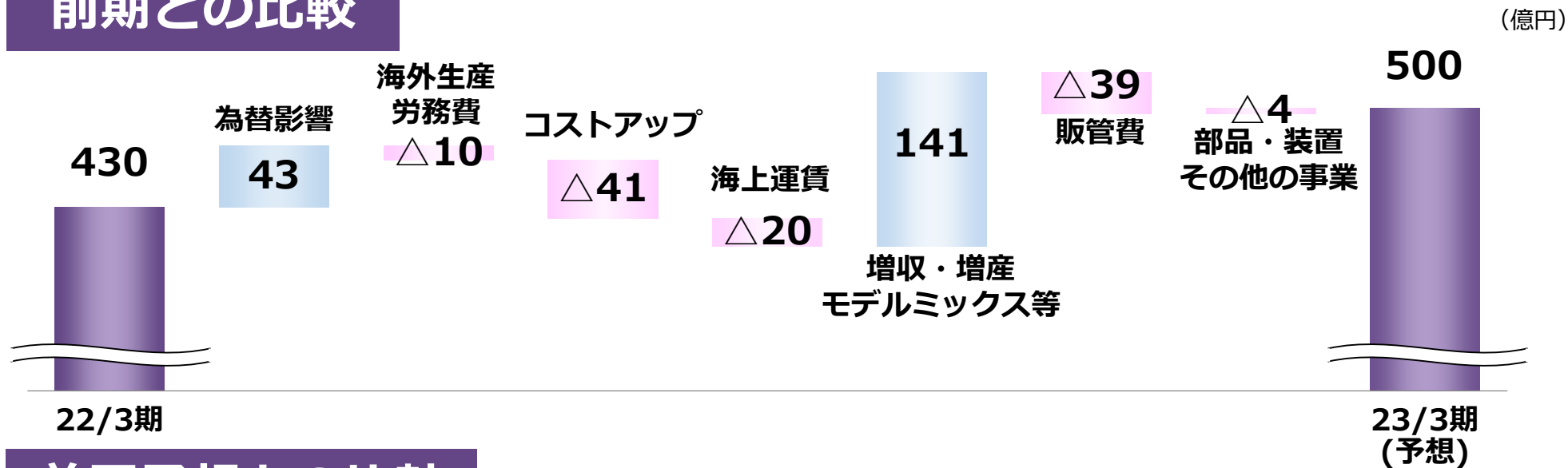
## 1円変動による影響額

売上収益	約10.4億円
事業利益	約6.5億円
当期利益	約0.7億円
当期利益	約4.1億円

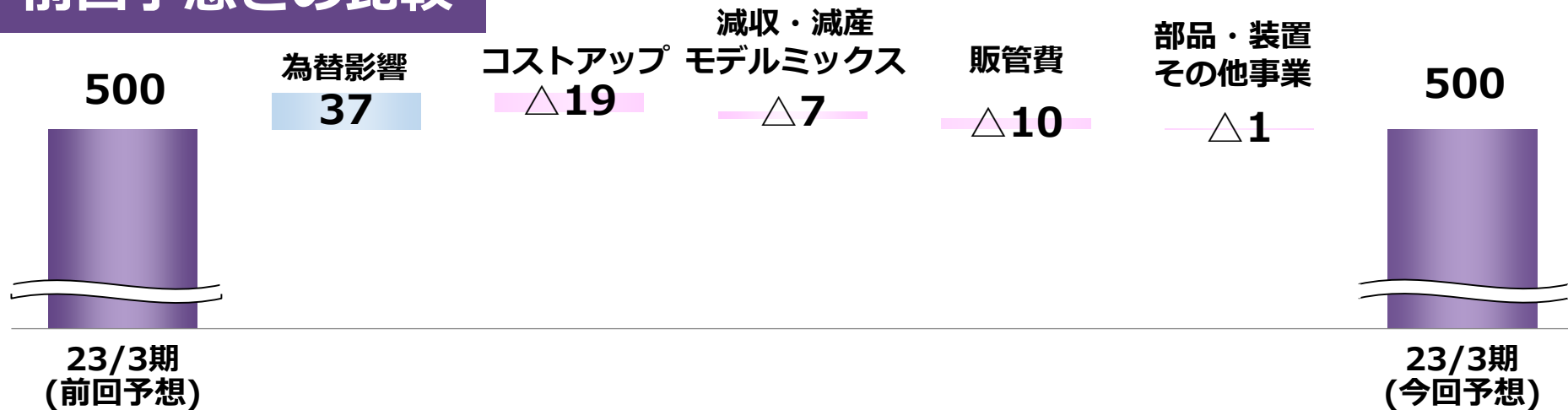
\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業利益増減要因

## 前期との比較



## 前回予想との比較

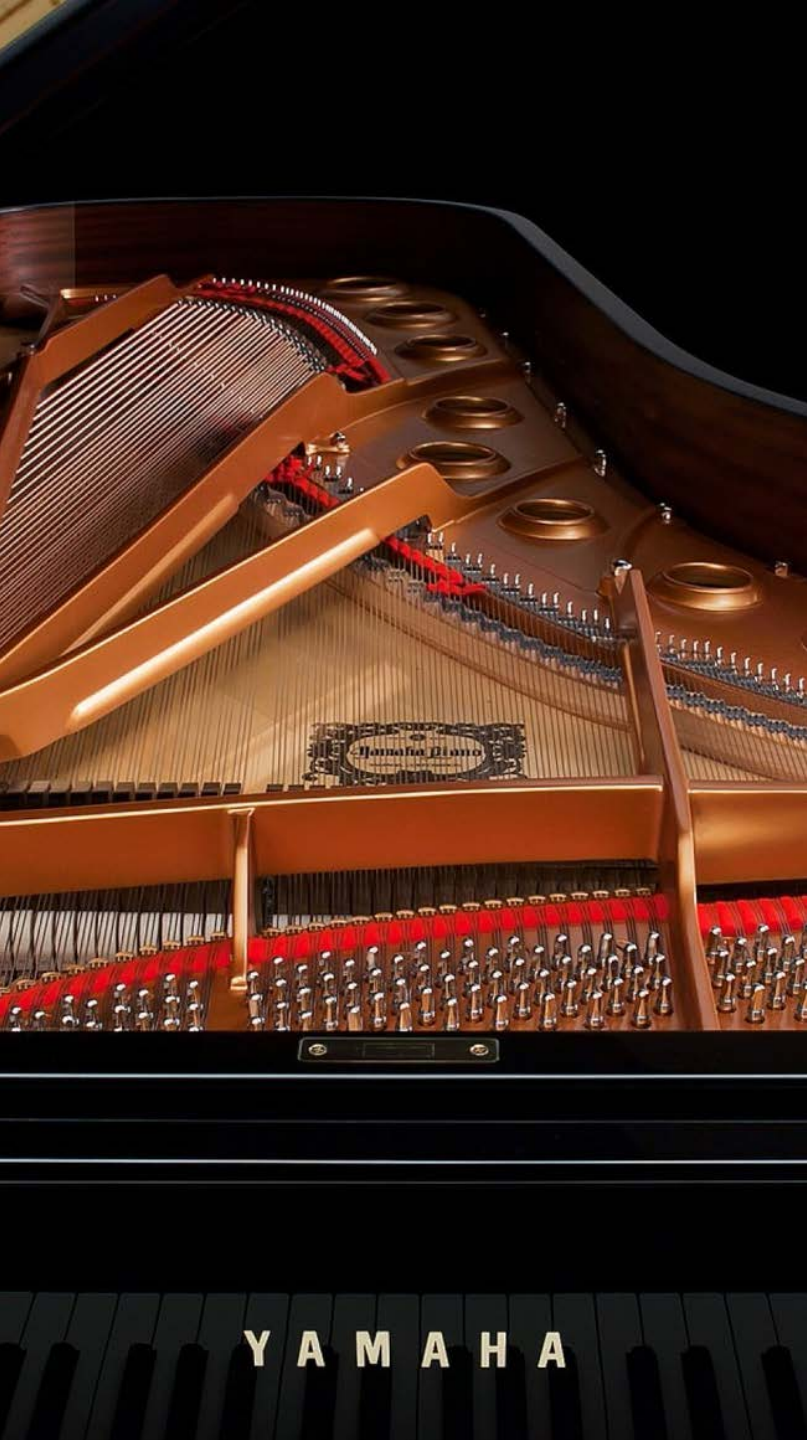




# 事業別業績予想

(億円)

		22/3	23/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,762	3,150	388	222
	事業利益	373	430	57	51
	事業利益率	13.5%	13.7%	+0.2P	
音響機器事業	売上収益	969	1,050	81	60
	事業利益	15	30	15	△10
	事業利益率	1.6%	2.9%	+1.3P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	351	400	49	24
	事業利益	42	40	△2	2
	事業利益率	11.8%	10.0%	△1.8P	

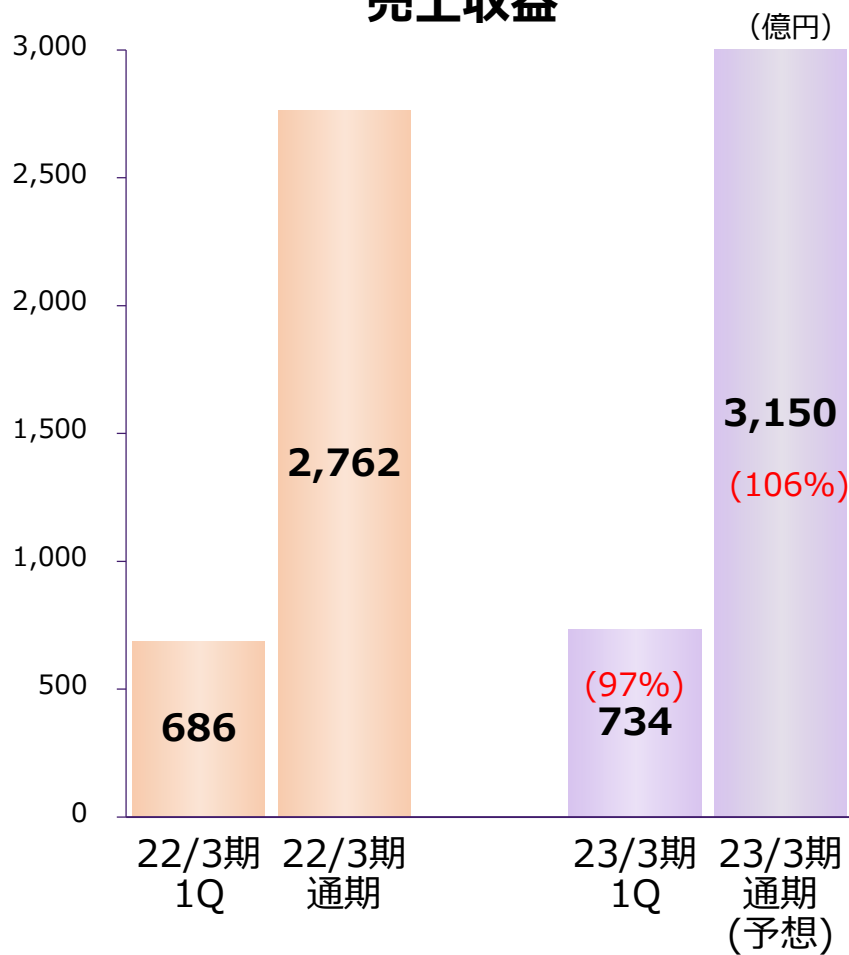


Y A M A H A

## 2. 事業別概要

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

### [1Q状況] 中国ロックダウンの影響大きく減収

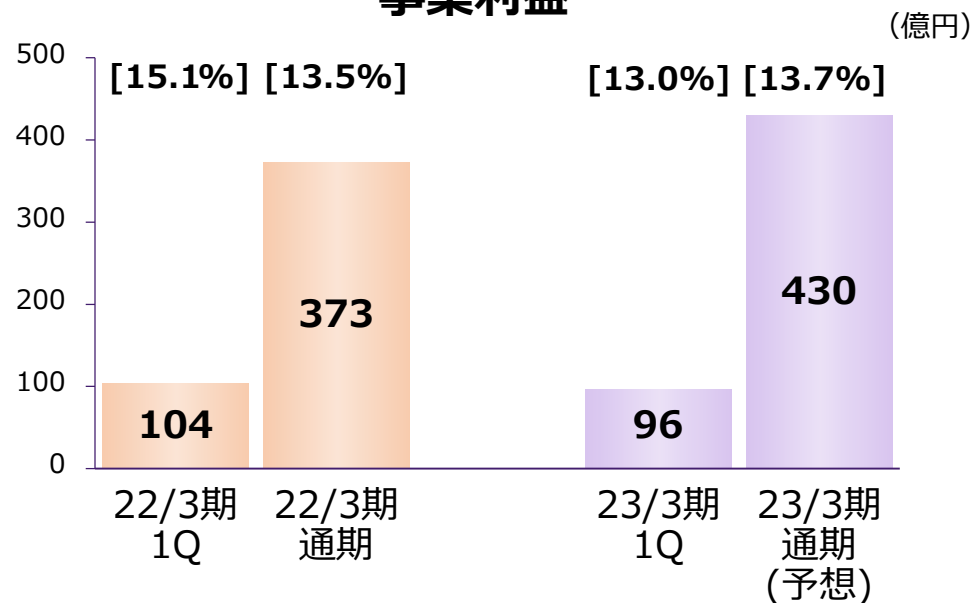
- ・ピアノ・電子楽器は、中国ロックダウンの影響で減収、ギターは中国2桁成長も減収、管弦打は需要堅調継続し北米中心に増収
- ・北米・その他の地域は堅調、中国大幅減、欧州はポータブル キーボード・ギター等、エントリーモデルで需要が減少

### [通期見込] 供給回復し全地域増収を予想

- ・中国ロックダウンの影響によりピアノは前年並み、それ以外のカテゴリーは増収を予想
- ・半導体調達難の影響解消、供給不足改善を予想

(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益



[ ]内は事業利益率

# 主要商品 販売状況

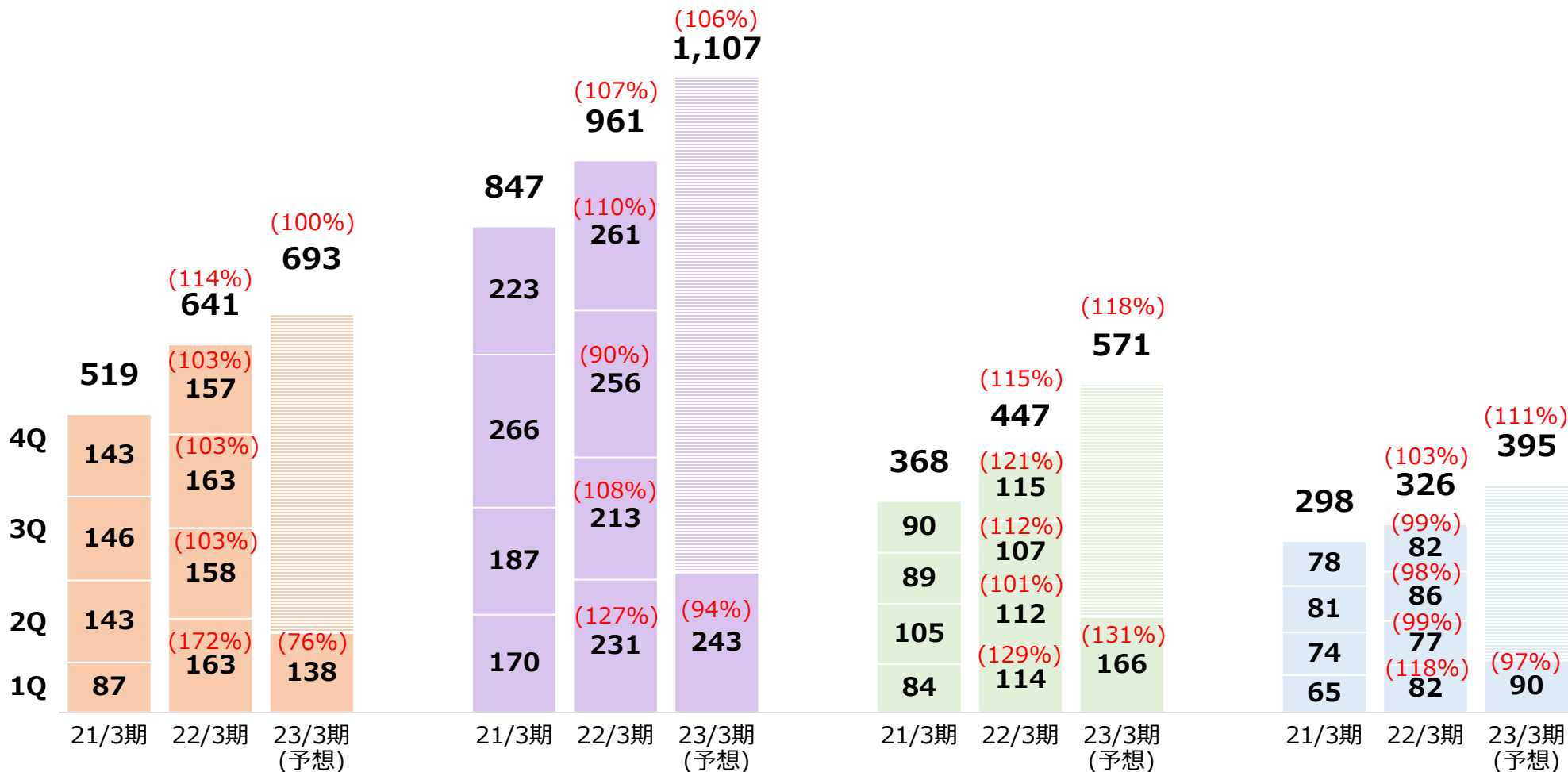
## ピアノ

## 電子楽器

## 管弦打楽器

## ギター

(億円)

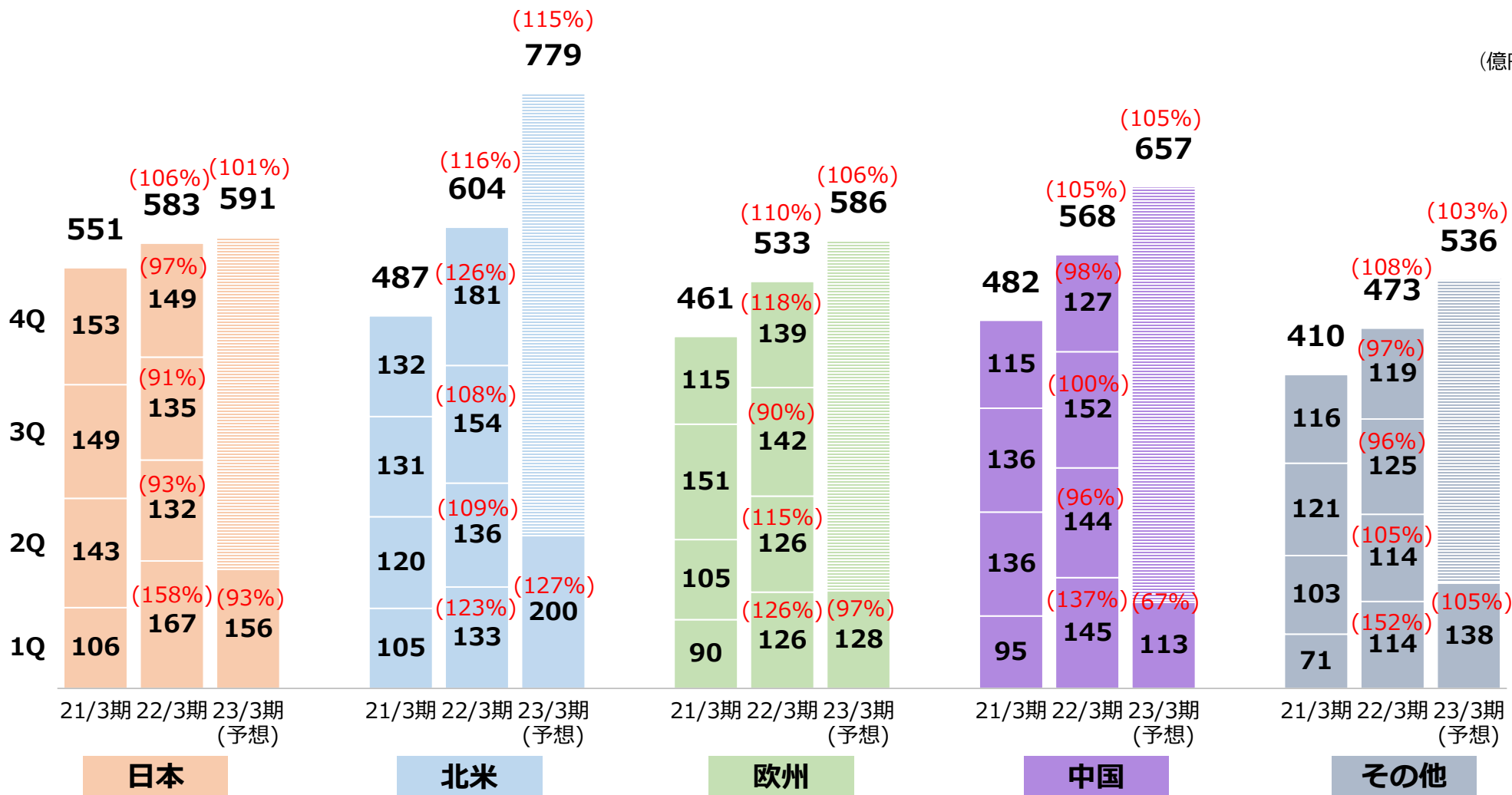


( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

\*ギターは、Line 6・Ampegブランド売上を含む 11

# 地域別販売状況

(億円)

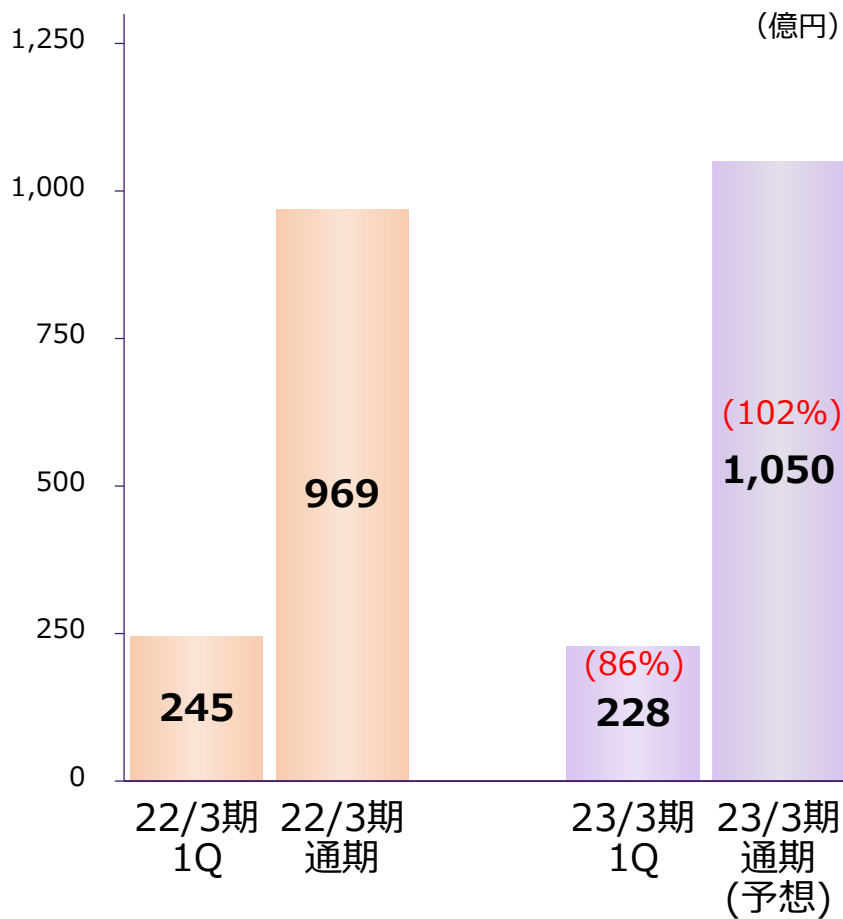


※ソフト、音楽教室等を含む

( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

### [1Q状況] 半導体調達難の影響続き減収

- ・AV・PAは半導体調達難による供給不足継続で減収
- ・ICTは旺盛なネットワーク需要継続も、UC\*特需収束し減収

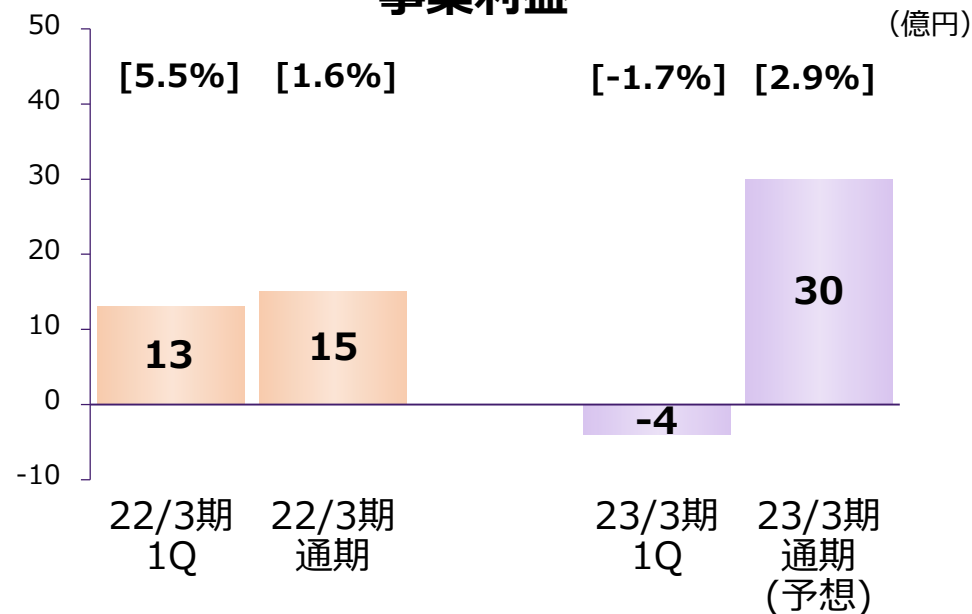
### [通期見込] 半導体調達難影響継続も増収を予想

- ・AVは半導体調達難の影響が長引き減収を予想
- ・PAは半導体調達難の影響あるも、市況回復により増収を予想
- ・ICTはネットワーク需要堅調で増収を予想

\*UC:会議システム

(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益



[ ]内は事業利益率

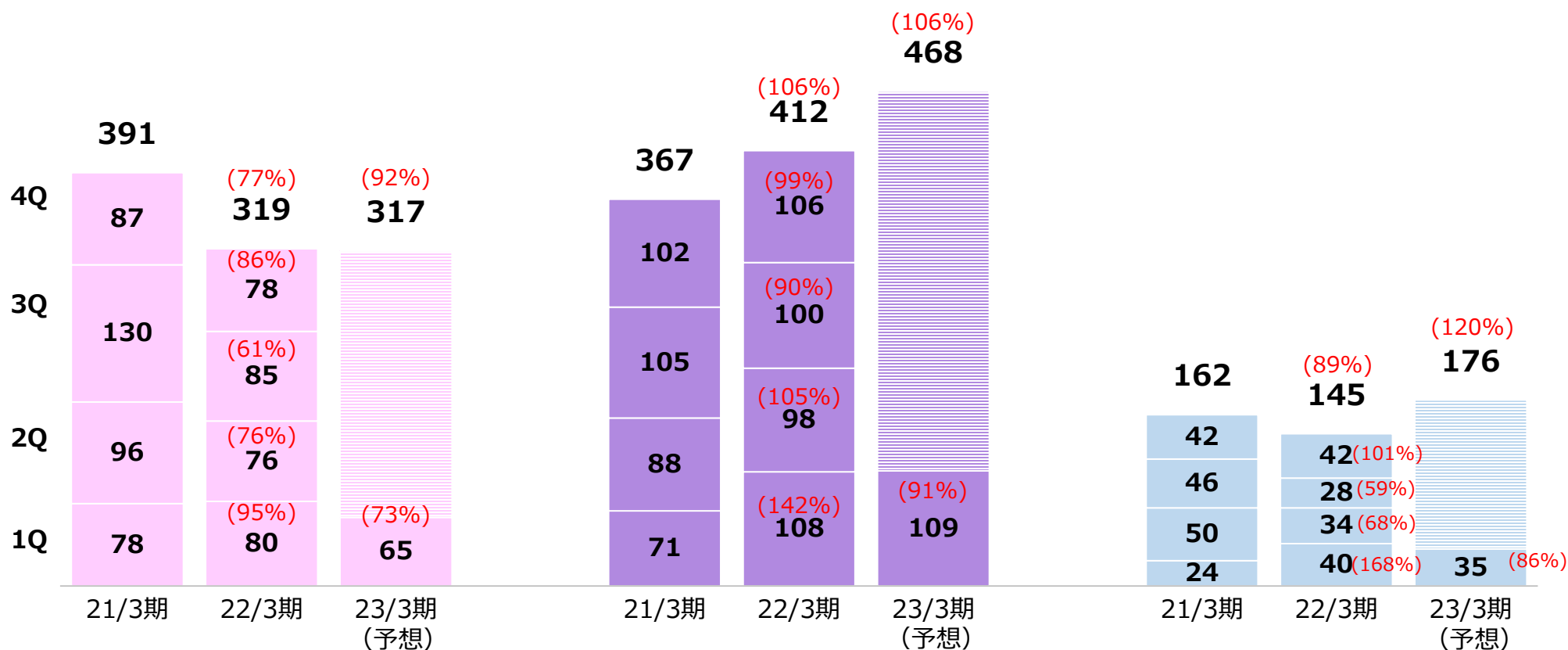
# 主要商品 販売状況

## AV機器

## PA機器

## ICT機器

(億円)

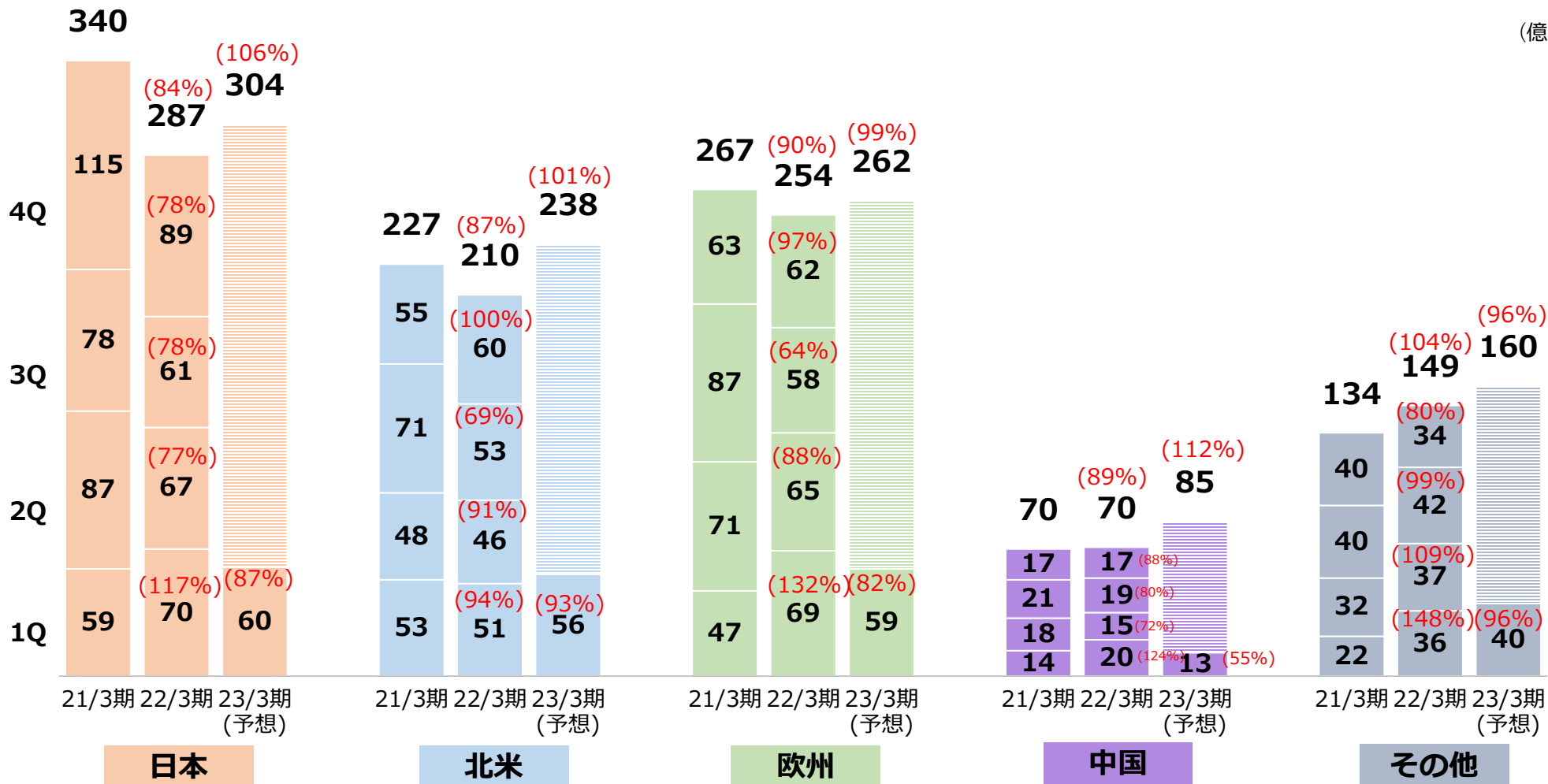


※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 地域別販売状況

(億円)

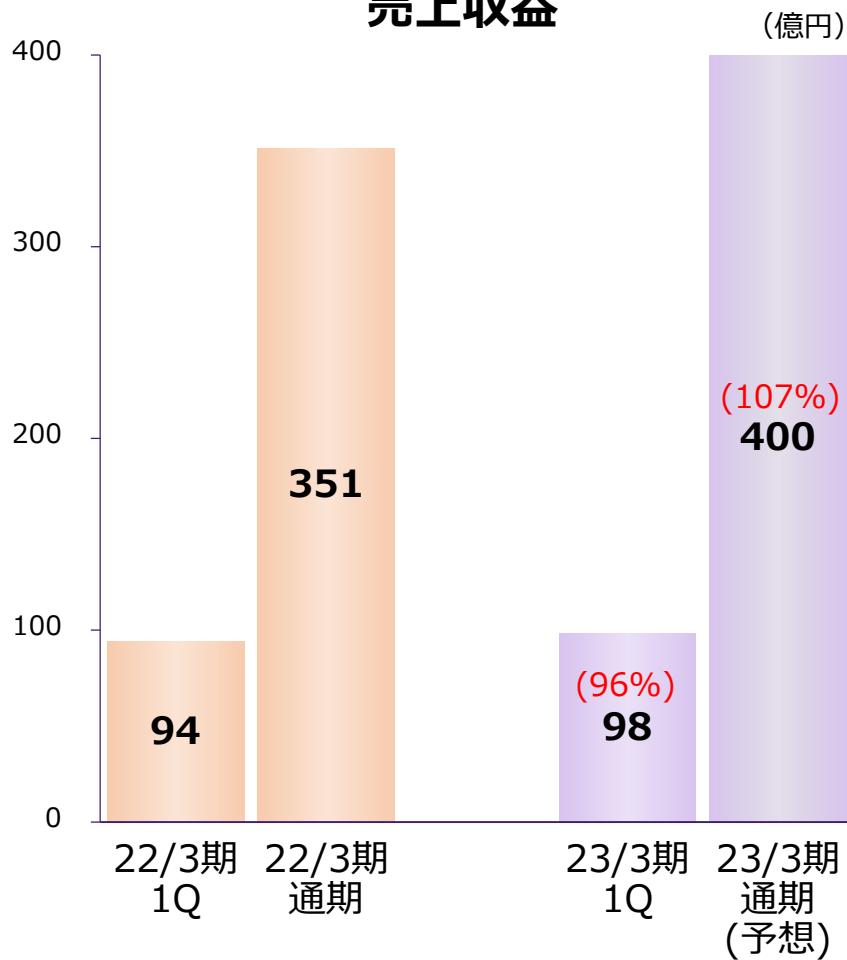


( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



# 売上収益・事業利益

## 売上収益



### [1Q状況]

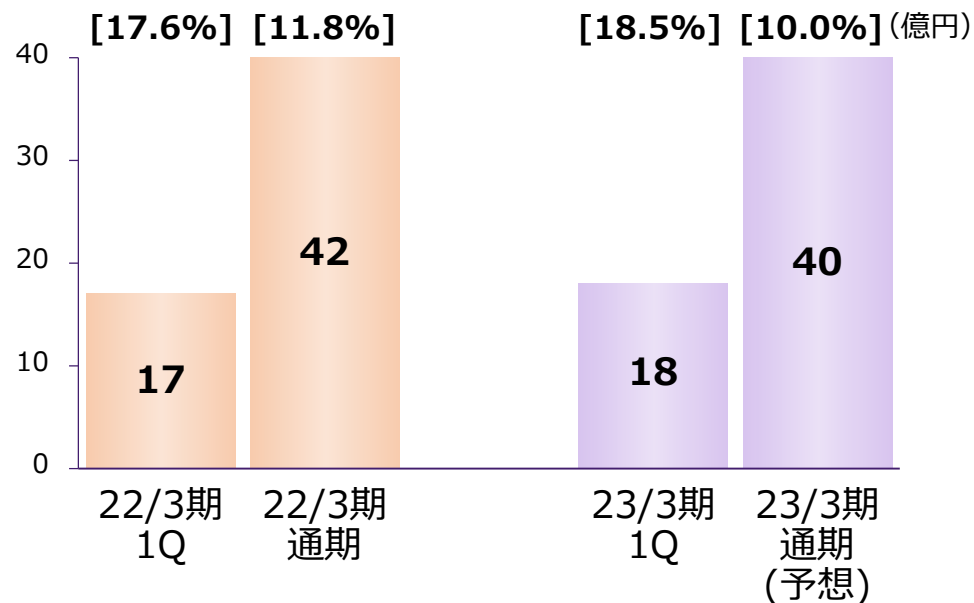
・顧客企業の減産により電子デバイス、自動車用内装部品、FA機器ともに減収

### [通期見込]

・車載関連、FA機器の販売回復を予想

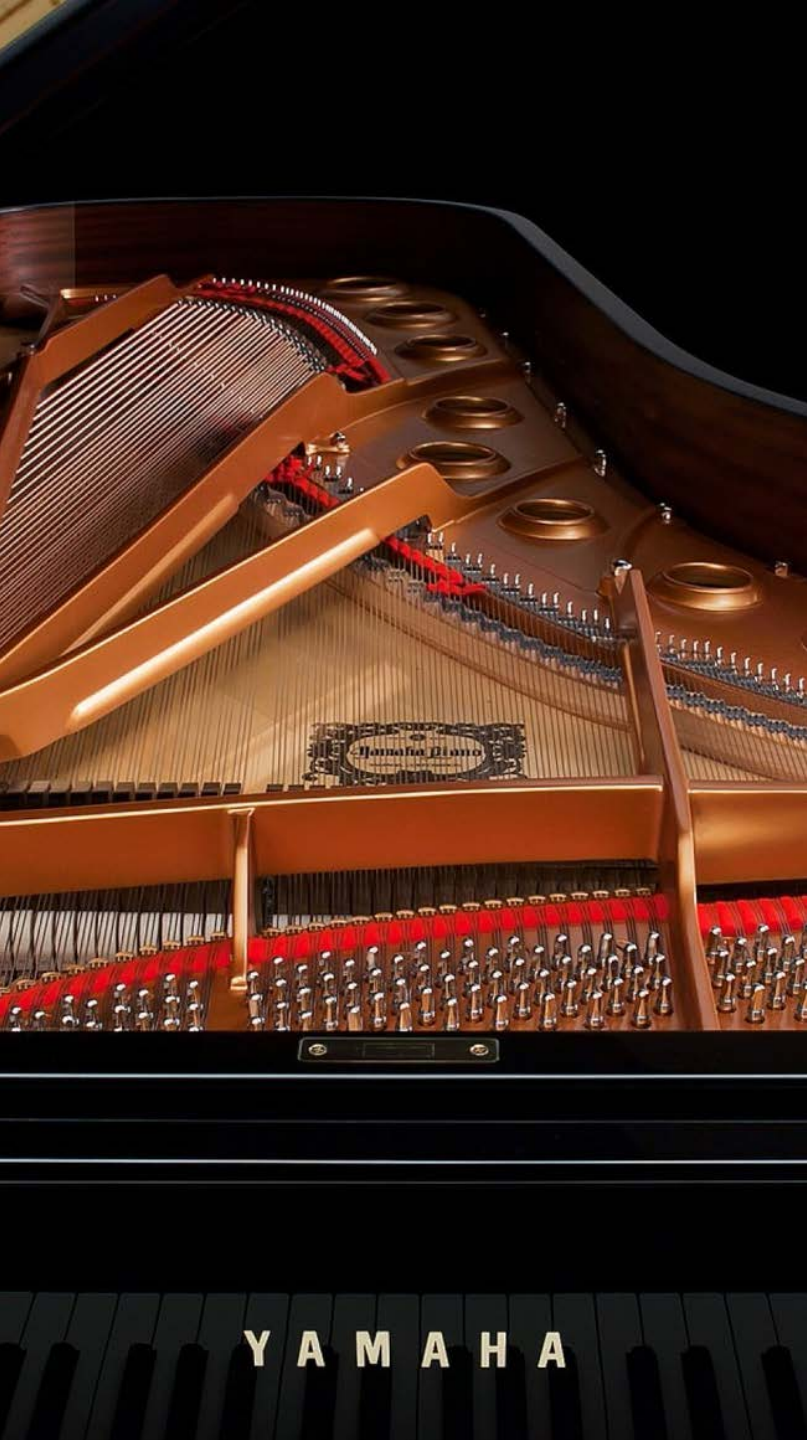
(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[ ]内は事業利益率



### 3. その他財務数値

# 貸借対照表

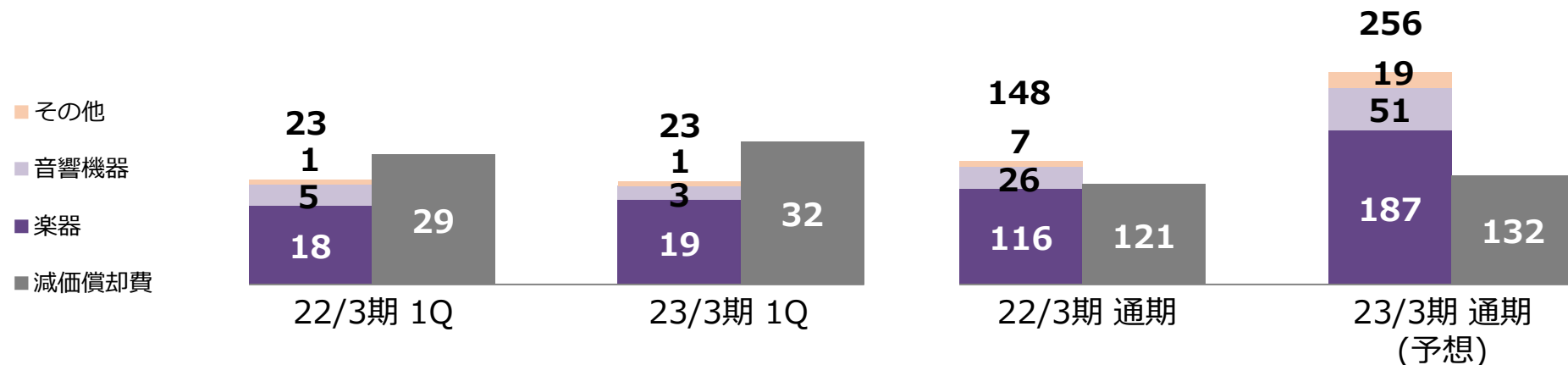
(億円)

	22/3末	23/3 1Q末	増減	23/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,725	1,496	△229	1,630
営業債権他	600	625	25	690
その他金融資産	44	37	△7	50
棚卸資産	1,186	1,367	181	1,310
他流動資産	72	80	9	100
非流動資産	2,183	2,164	△19	2,270
<b>資産計</b>	<b>5,809</b>	<b>5,770</b>	<b>△40</b>	<b>6,050</b>
流動負債	1,261	1,086	△175	1,140
非流動負債	389	380	△9	390
資本計	4,159	4,303	144	4,520
<b>負債及び資本計</b>	<b>5,809</b>	<b>5,770</b>	<b>△40</b>	<b>6,050</b>

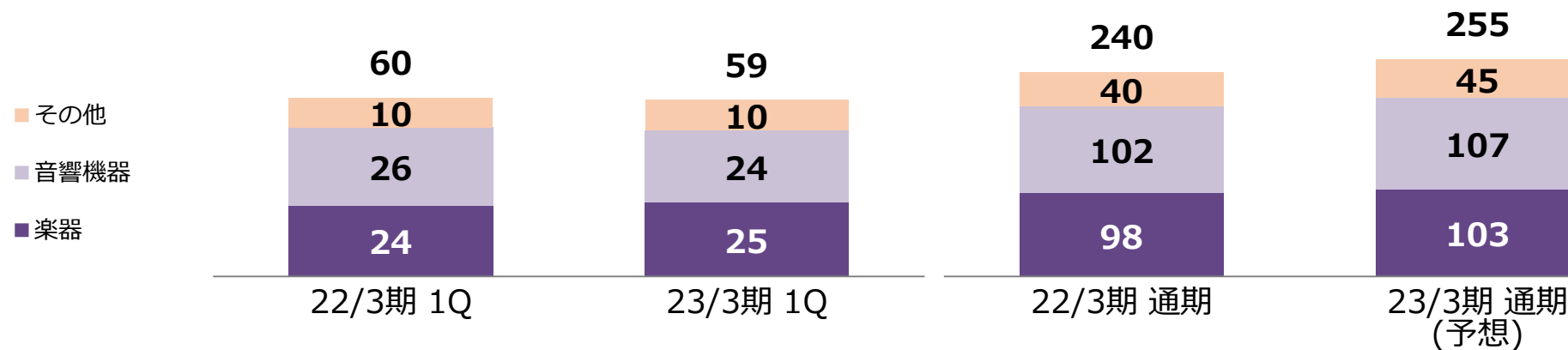
# 設備投資額・減価償却費/研究開発費

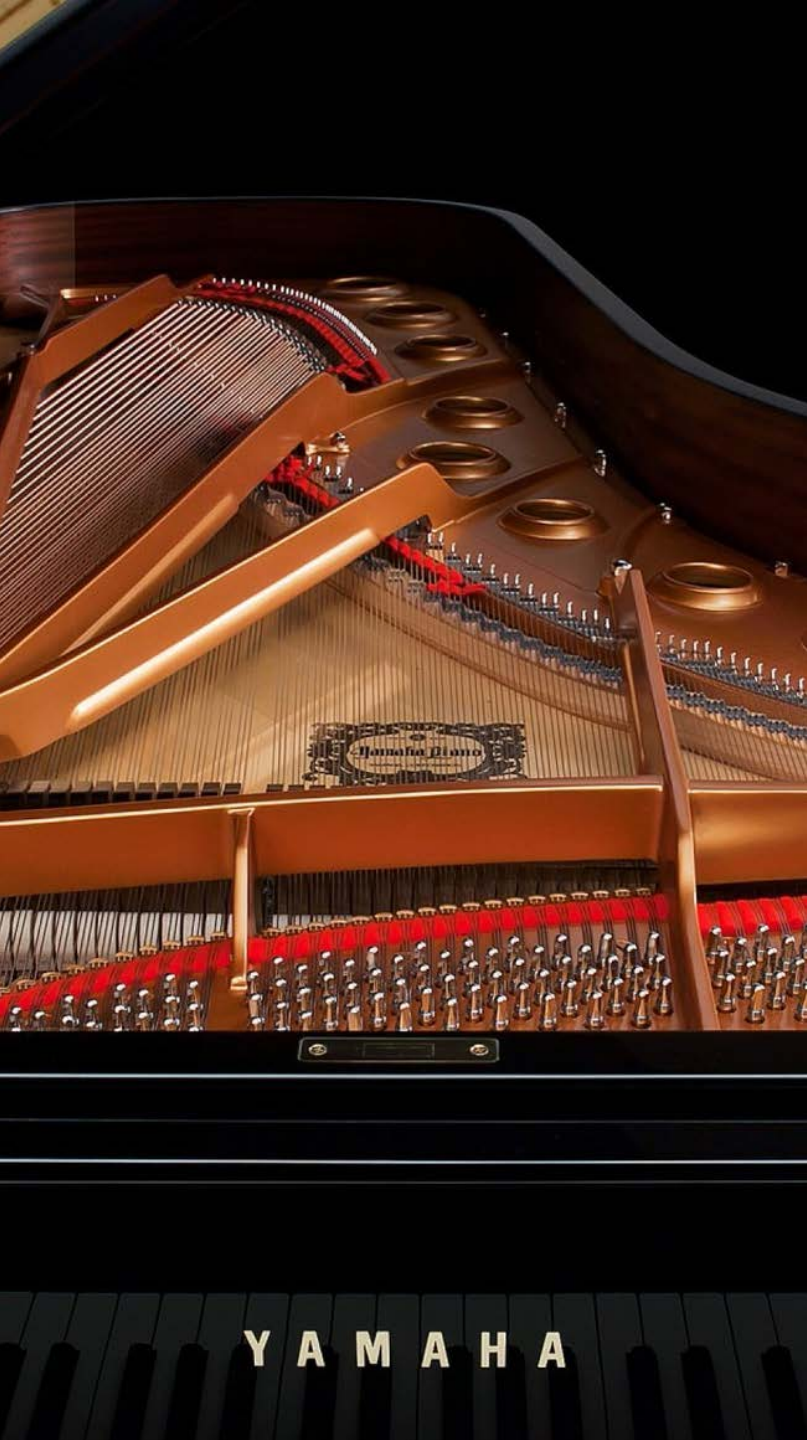
## 設備投資額・減価償却費

(億円)



## 研究開発費





## 4. ESGの取り組み

# ESGトピックス

文化

## 音楽文化の普及・発展

エジプト・ブラジルでの器楽・音楽教育導入事業が  
文部科学省「日本型教育の海外展開」令和4年度  
EDU-Portニッポン応援プロジェクトに採択



エジプトでのリコーダー授業



\* 関係府省や国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）、地方公共団体、教育機関、民間企業、NPOなどが協力して、世界から高い関心を集めている日本の教育を官民協働のオールジャパンで海外展開を推進していく事業

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2022/22071201/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22071201/)

## ESGインデックス

GPIFが採用する5本のESG指数全てに選定

FTSE Blossom Japan Index  
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index **新**  
MSCIジャパン ESGセレクトリーダーズ指数  
S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数  
MSCI日本株女性活躍指数（WIN）



FTSE Blossom  
Japan



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標) はここにヤマハ株式会社 が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Index はグローバルなインデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス (ESG) について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標) はここにヤマハ株式会社 が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

THE INCLUSION OF YAMAHA CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF YAMAHA CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

<https://www.yamaha.com/ja/csr/evaluation/#01>

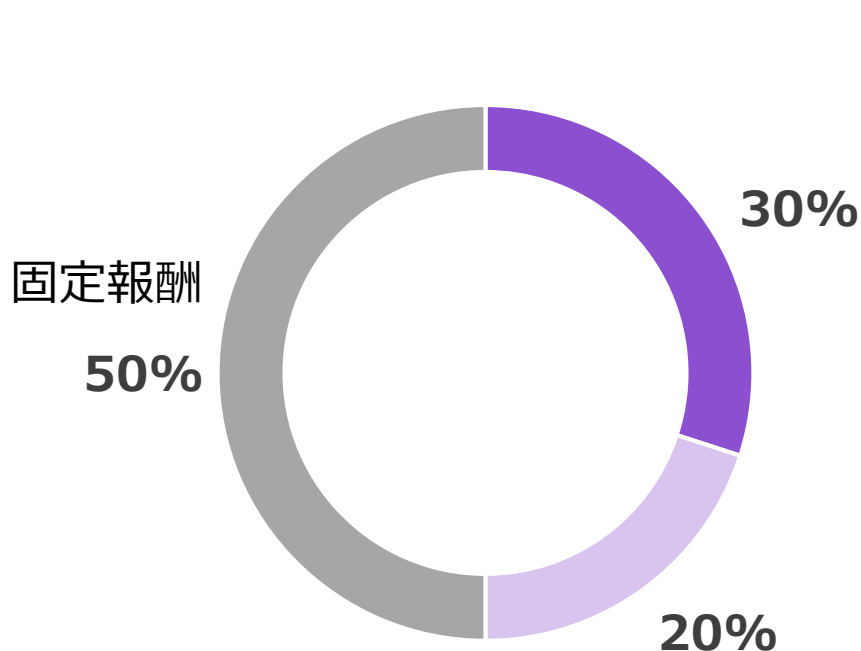


# ガバナンス 役員報酬

## 役員報酬\*の評価指標の見直し

譲渡制限付き株式報酬について、これまでの財務目標にサステナビリティを中心とした非財務目標、企業価値目標の区分を追加

\*対象は社外取締役を除く取締役、執行役及び執行役員（社外取締役は固定報酬のみ）



### 業績連動賞与（単年）

連結当期利益、ROE、個人別の成績

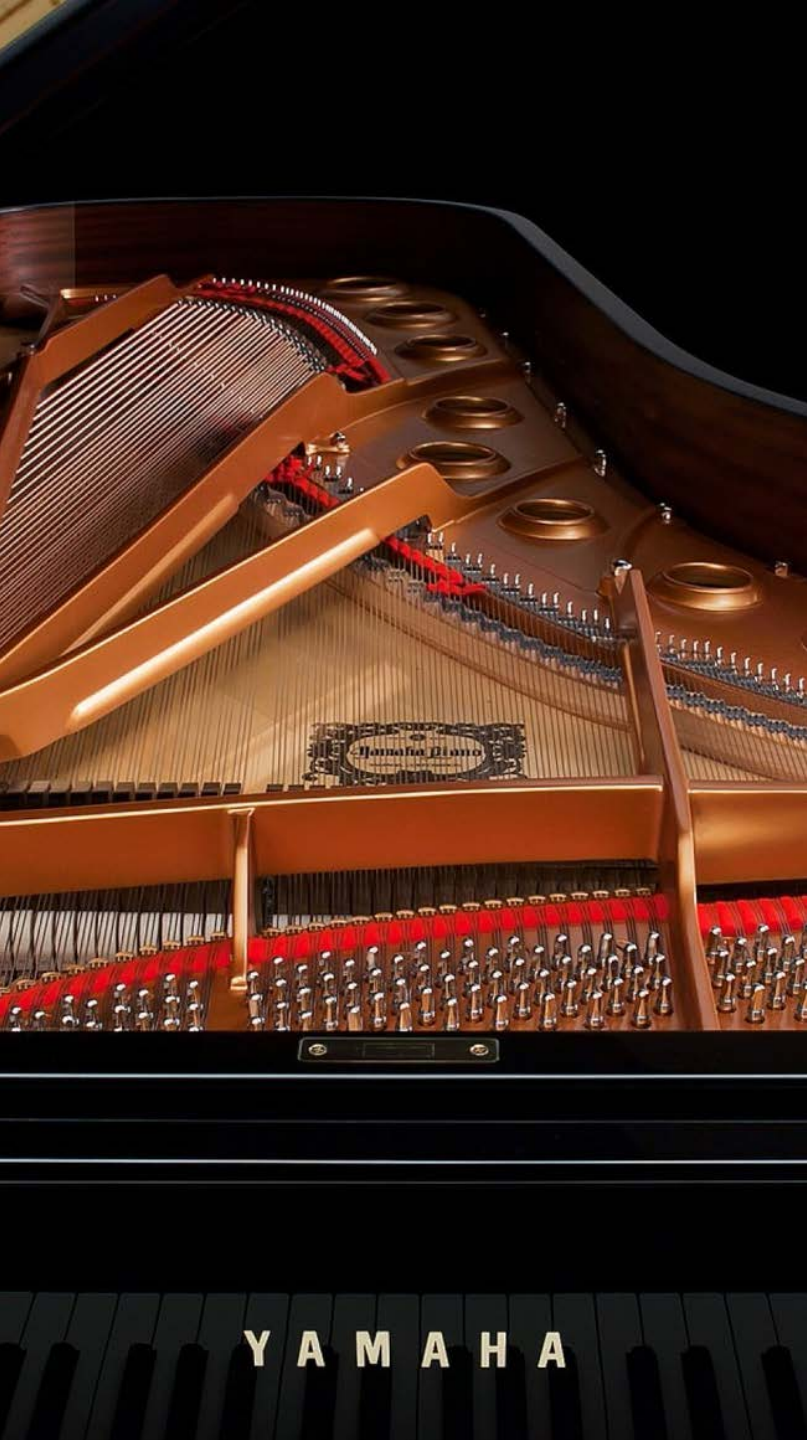
### 譲渡制限付き株式報酬（3年）

中計で掲げる目標（財務・非財務）

財務目標：非財務目標：企業価値目標（TSR）  
= 50%：30%：20%

### 非財務目標





# 付属資料

Y A M A H A



# 1Q その他収支等

(億円)

		22/3	23/3
<b>事業利益</b>		<b>134</b>	<b>110</b>
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	47	△0
	その他	2	1
	計	49	1
<b>営業利益</b>		<b>183</b>	<b>111</b>
金融収支計	受取配当金	3	3
	その他	1	12
	計	4	15
<b>税前利益</b>		<b>187</b>	<b>126</b>
法人所得税費用		53	40
非支配株主利益		0	0
<b>当期利益*</b>		<b>134</b>	<b>86</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 通期 その他収支等

(億円)

		22/3	23/3 (予想)
<b>事業利益</b>		<b>430</b>	<b>500</b>
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	46	△0
	その他	17	0
	計	63	0
<b>営業利益</b>		<b>493</b>	<b>500</b>
金融収支計	受取配当金	34	24
	その他	3	△4
	計	37	20
<b>税前利益</b>		<b>530</b>	<b>520</b>
法人所得税費用		157	144
非支配株主利益		1	1
<b>当期利益*</b>		<b>373</b>	<b>375</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。